

報道関係者各位

令和5年1月27日
山梨県リニア未来創造局
リニア未来創造・推進課 課長 鎌田 秀一
電話番号 055-223-1664(内線 1304)

頭痛による労働生産性の低下を可視化し、 従業員の健康状態の改善を図る実証実験を実施中！

【株式会社ヘッジホッグ・メドテック】

第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

山梨県（知事：長崎幸太郎）が実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「第3期TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、採択された7事業者のうちの1つである「株式会社ヘッジホッグ・メドテック」は12月、株式会社フォネット（山梨県甲府市、代表取締役 清水栄一）との連携を皮切りに、1月より株式会社アルプス（山梨県中巨摩郡昭和町、代表取締役 金丸滋）及び豊前医化株式会社（山梨県中央市、代表取締役 豊前貴子）とも連携し、県内企業3社の頭痛による労働生産性の低下を可視化し、頭痛患者の疾患啓発及び医療機関との連携に向けた実証実験を進めています。

1 事業者

株式会社ヘッジホッグ・メドテック

(<https://h-medtech.com/>)

本社：東京都中央区

代表：CEO 川田裕美

概要：頭痛治療用アプリの開発と企業向け健康管理サービスの提供を行う医療系スタートアップ



2 実証実験の内容

株式会社ヘッジホッグ・メドテックが提供する健康経営サーベイシステムを通じて、従業員に自身の日々の労働生産性と身体症状等の評価を行ってもらうことで従業員の労働生産性と疾患状況を可視化し、その結果から企業の健康経営の施策立案の基盤となるデータ整備を目指します。

また、上記サーベイにて抽出された頭痛患者に向けて、頭痛への理解促進、医療機関への受診勧奨、医療機関連携に向けたプログラムを提供します。これにより、頭痛に悩む従業員に対して適切な医療情報を提供し、治療へのアクセスを促進することで健康状態の改善を目指します。

実施期間：2022年12月から2023年2月

※詳細は、株式会社ヘッジホッグ・メドテック発表の別添リリース資料をご参照ください。

■「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html

未来創造インフォ

Click



【報道関係者からのお問い合わせ先】

山梨県 リニア未来創造局 リニア未来創造・推進課 担当：齊藤

電話：055-223-1363（内線 1324） メール：saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp

株式会社ヘッジホッグ・メドテック 担当：石坂

電話：080-5458-2319 メール：hiroaki.ishizaka@h-medtech.com

2023年1月27日

ヘッジホッグ・メドテック、山梨県にて頭痛による生産性低下の可視化と、疾患啓発及び医療機関との連携の実証を開始

株式会社アルプス、株式会社フォネット及び豊前医化株式会社が事業に参加

頭痛治療用アプリ開発と企業向け健康管理サービスの提供を行う株式会社ヘッジホッグ・メドテック（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：川田裕美、以下ヘッジホッグ・メドテック）は、山梨県が実施する「第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」を通じて株式会社アルプス（山梨県中巨摩郡昭和町、代表取締役社長 金丸滋）、株式会社フォネット（山梨県甲府市、代表取締役 清水栄一）及び豊前医化株式会社（山梨県中央市、代表取締役 豊前貴子）とともに、頭痛による生産性低下の可視化と、疾患啓発及び医療機関との連携の実証を開始いたしました。

 YAMANASHI  Hedgehog MedTech

第3期TRY!YAMANASHI! 実証実験サポート事業

ヘッジホッグ・メドテック、山梨県にて
頭痛による生産性低下の可視化と、疾患啓発及び
医療機関との連携の実証を開始

 ALPS INC.  フォネット  BUZEN 豊前医化株式会社

株式会社アルプス 株式会社フォネット 豊前医化株式会社

実証事業の概要

1. 提供するプログラム
- 1) 健康経営サーベイの実施

ヘッジホッグ・メドテックの提供する健康経営サーベイシステムを通じ、従業員の労働生産性と疾患状況の可視化を行います。これにより、健康経営の施策立案の基盤となるデータ整備を目指します。

2) 頭痛プログラムの提供

健康経営サーベイにて抽出された頭痛を感じた従業員に向けて、頭痛の理解促進、受診勧奨、医療機関連携に向けたプログラムを提供します。これにより、頭痛に悩む従業員に対して適切な医療情報への提供と、治療へのアクセスを促進し、健康状態の改善を目指します。

2. 参加企業：株式会社アルプス、株式会社フォネット、豊前医化株式会社

- ・期間：2022年12月から2023年2月
- ・対象：従業員
- ・目的：健康経営における基礎データの収集、頭痛を抱える従業員へのサポート

第3期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業について

TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業とは、山梨県が、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に対し、全国トップレベルとなる補助率4分の3、最大750万円の経費を支援するとともに、山梨県全域を実証実験のフィールドとして、産学官金連携のオール山梨体制で伴走支援する事業です。

ヘッジホッグ・メドテックは、第3期事業者として採択され、頭痛による生産性低下の可視化と、疾患啓発及び医療機関との連携の実証を実施しています。

採択事業者一覧：<https://prt-times.jp/a/?f=d78927-20220831-dad5db2fcee391111752aa489de6f1da.pdf>

代表取締役 CEO 川田裕美

医師として初期臨床研修終了後、厚生労働省に入省、難病対策、感染症対策等に從事したのち、株式会社メドレーにてオンライン診療の普及、日本初の遠隔服薬指導の実施、ソフトバンク株式会社にてDTx領域の投資検討・海外企業とのJV設立等、一貫して医療の発展に貢献する業務に從事。

株式会社ヘッジホッグ・メドテックについて

ヘッジホッグ・メドテックは「日常生活と医療をつなぐ」をビジョンとし、2021年に創業した医療系スタートアップです。医療機器としての承認を目指す治療用アプリと企業向け健康管理サービスの開発を行っています。第一弾として、生活への影響が大きく、就労世代の患者が多い頭痛領域を中心とした展開を進めています。

名称：株式会社ヘッジホッグ・メドテック (Hedgehog MedTech, Inc.)

所在地：東京都中央区

代表者：代表取締役 CEO 川田裕美

設立：2021年10月15日

URL：<http://h-medtech.com/>

コンタクト情報



お問合せ：<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=XGCE0btNC0eaV1oY--A8FmSWK08AfsZHtk8sNkQjxsFURUgxMkZJSEFCQTNQTKyZNTVUS0JYSU1aQyQ1QCN0PWcu>